

青陵図書館だより 1月号

令和5年1月13日

青陵中学校
司書 青木洋子

開運!

あけましておめでとうございます。
今年もみなさんがすてきな本に出会えますように!



青陵中学校図書館
の本を探す

ブックじ

開催期間
1/11~1/31



- 本を借りると **開運!** ブックじ をひくことができます。
- 1日1回まで、何回でもひけます。(毎日でも!)
- **開運!** ブックじ に書かれている「おすすめの本」を借りた人にはお年賀をさしあげます。
- 「凶」「大凶」も容赦なくいれています。
おみくじの結果を気にしすぎてしまうひとは注意して!



先に読む?
後に読む?

映像化作品 原作小説を
読んでみよう!

最近ドラマ・映画化されたり、
映像化が発表された作品を紹介!

<p>ザリガニの鳴くところ 事件の真相は、初恋の中に沈んでいる</p>	<p>マリアビートル ハリウッド映画「ブレットトレイン」原作。5人の殺し屋が新幹線に乗り込む</p>	<p>かがみの孤城 そこは、私の世界を変える入口でした</p>	<p>祈りのカルテ カルテ読んで、顔色読んで、心まで読む</p>
<p>線は、僕を描く 涙をぬぐい、心を描けー</p>	<p>シーソーモンスター 「ブレットトレイン」に続いてハリウッドで実写化決定</p>	<p>夏へのトンネル、さよならの出口 時空を超えるトンネルで君を取り戻す</p>	<p>元彼の遺言状 勝ちにこだわる最強ヒロイン登場!</p>
<p>流浪の月 その真実はふたりだけのもの</p>	<p>少女は卒業しない 卒業までの二日間... さよならの物語。</p>	<p>小説 すずめの戸締り 過去と現在と未来をつなぐ“戸締まり”の物語。</p>	<p>霊媒探偵城塚翡翠シリーズ すべてが反転。</p>
<p>ロボット・イン・ザ・ガーデン 「TANG」原作 キミとなら、きっと大丈夫</p>	<p>今夜、世界からこの恋が消えても 夜眠るとわすれちゃうの。1日にあったこと全部。</p>	<p>犬王 壮絶な運命を切り開く2人のポップスターの熱狂と友情</p>	<p>旅屋おかえり あなたに代わって旅します。依頼人の思いを背負って全国行脚。</p>
<p>ハケンアニメ 好きをつらぬけ! このアニメで覇権をとる!</p>	<p>正欲 自分の確固とした「正義感」が揺らぐ</p>	<p>四畳半タイムマシンブルース 宇宙消滅の危機を救うのはコーラとりモコン?!</p>	<p>卒業タイムリミット 先生が誘拐された。救えるのはぼくらだけ。</p>

原作小説
おすすめ
ポイント

- 観てから読むと読書が苦手な人でも作品世界にすぐに入り込めて、読み進めやすい。
- 原作にだけ描かれているエピソードや設定が楽しめる。
- 読んでから観ると、作品の設定や人物をすでに理解しているの、より深く作品世界に没入できる。
- 観た時には気づかなかったことを発見・考察できる。



今月の新着図書

分類記号	書名	著者名	出版者
726 ウ	よりぬきコボちゃん—対訳 バイリンガルコミック	植田まさし	講談社
726 フ	DORAEMON—Gadget Cat from the Future	藤子・F・不二雄	小学館
913 ア	正欲 “多様性”ってそんなに簡単じゃない	朝井リョウ	新潮社
141 ト	12歳から始めるあがらない技術—本番に強くなる 人前で緊張しない	鳥谷朝代	秀和システム
331 ハ	ヘンテコノミクス—行動経済学まんが— ヒトはなぜそれを買うのか?	佐藤雅彦	マガジンハウス
375 カ	マイテーマの探し方	片岡則夫	筑摩書房
706 カ	目の見えない白鳥さんとアートを見にいこう 全盲の美術鑑賞者とアート巡り…どうやって?!	川内有緒	集英社
780 チ	中高生のスポーツハローワーク—スポーツを仕事にしたい君へ		学研プラス
901 フ	真夜中のミステリー読本 改訂新版	藤原幸太郎	論創社
913 ア	赤ずきん、ピノキオ拾って死体と出会う。 人気シリーズ最新刊	青柳碧人	双葉社
913 ウ	変な家	雨穴	飛鳥新社
913 オ	君のクイズ 戸籍を読み解いて先祖を調べる風子。調査のかたわら自らのルーツをたどっていく。無国籍や棄民戸籍など、ふだん意識することのない‘戸籍’について考えさせられる。	小川哲	朝日新聞出版
913 シ	先祖探偵	新川帆立	角川春樹事務所
913 テ	川のほとりに立つ者は PICK UP!	寺地はるな	双葉社
929 チ	地球でハナだけ 旅から戻った恋人は、別人のようにハナを大切にしてくれるように…いったいあなたはだれ? 宇宙規模のラブストーリー	チョンセラン	亜紀書房
913 イ	物件探偵	乾くるみ	新潮社
913 ム	西由比ヶ浜駅の神様 事故物件や投資詐欺などの不動産をめぐるミステリー。「部屋が泣いています」	村瀬健	KADOKAWA



PICK UP!



司書イチオシ本 川のほとりに立つ者は

カフェの店長清瀬のもとに、数か月前にケンカしたまま連絡をとっていなかった恋人・松木がケガをして意識不明という連絡が入る。彼の親友・樹と一緒に歩道橋から転落したらしい。松木の部屋で見つけた3冊のノートで少しずつ明らかになっていく、ある事情。「普通に」「当たり前」生きていけることの幸運さに無自覚でいることの傲慢さに、ハッとさせられる。「川のほとりに立つ者は、水底に沈む石の数を知り得ない」。差し伸べた手が振り払われることもあるかもしれない。それでも「明日がよい日でありますように」と願うことはできる…だろう。(この作品の連載当時のタイトルは『明日がよい日でありますように』)

12歳から始めるあがらない技術

自分は「人前で緊張しない」「本番に強い」って言える人はかなりの少数派では? (「日本人は95%があがり症(あがり症克服協会調べ)」) 著者の鳥谷さんは中1のときからあがり症。人前で教科書を読む順が回ってきそうなときは保健室に逃げ込み、大学受験もあきらめ、就職してからも会議など発言が求められる日は欠勤・休職してしまうほど。まず緊張の仕組みを学ぶこと。メンタルだけではなく、むしろ身体から緊張を克服する方法はすぐにでも試してみる価値あり!



受験生には特におすすめの本です。(毎日、人前で授業をされている先生方はいつから(生まれた時からから?)「あがらない」のかお聞きしたいですね!)